

### 農場長より

本年は体育館の耐震改修工事が進められ、2学期はほとんど体育館が使用できないで終わりました。『耶麻農校へ行こう』の公開発表会も、山都町体育館を使用して行われましたが、保護者をはじめ、同窓会や地域の方々にもご来校頂き、あらためて感謝申し上げます。産業技術科では科目「課題研究」における研究活動をパネルにして展示し、代表生徒による発表が行われました。また、体育館の入り口での農産物販売は、シクラメンの人气が高く、その他にも野菜やサツマイモ、白米やそば粉が販売され大盛況に終了できました。

昨年行われた講演会「青いバラと青いカーネーションの開発」において、生徒から出された要望により、本校で国内最初の青いカーネーションの栽培が始まり、新聞やテレビ・ラジオで取り上げていただき大きな話題になりました。青いカーネーションは無事に開花し本校のシンボルとして温室を彩っています。



### 作物部門

喜多方市の小学校との交流事業は、昨年に引き続き、熱塩小学校と山都第一小学校で行いました。トウモロコシやにんじんの種まき、秋には稲刈りや野菜の収穫祭など、一年を通して小学生と交流を持ち、生徒が先生として農作業を指導しました。

次に、農場の生産においては、水稻の収量が好調、サツマイモも大人気、そば粉も新種「会津のかおり」の販売が好調でした。そのほかにも喜多方の「エゴマ豚」として名産になっている、エゴマ栽培をしてエゴマ油の販売を予定しています。生徒の研究テーマのひとつですが、その一環として2月にはインターネットを利用してそば粉とエゴマ油を販売することにも取り組む予定です。

そば打ち講習会は今年も実施し、産業技術科の1年生全員と2・3年生作物専攻生が行いました。そうした中、さらにそば打ちを極めたいと、町内のそば道場に通う生徒も4人います。5月には県内で最初の高校生「そば打ち初段位」生徒が誕生しました。



### 畜産部門

今年度は、6頭の肥育牛と1頭の子牛を出荷することができました。肥育牛の格付けは、A5は3頭、A4が2頭で残りの1頭はB2という結果になりました。

その中の1頭のバラ肉を11月6日の収穫祭で振る舞い、大変好評でした。また、子牛は10月のセリに出荷しました。当日は台風18号の影響で購買者が少なく価格も低調で平均価格も40万円を切る値段で落札されました。そのような中、本校の子牛は50万円で落札され、場内には驚きの声が上がりました。

次に、11月22日にメスの子牛が誕生しました。これは2月に行った受精卵移植をしたもので、親の血統が大変良いので学校の繁殖素牛として残し、大切に育てていきたいと思っています。

プロジェクト学習は、来年1月末に行われる校内研究発表会に向けてまとめの段階に入っています。良い発表ができるよう指導していきたいと考えています。



出荷前の手入れ  
(シャンプーで洗済中)



受精卵移植で誕生した子牛

### 野菜部門

いよいよ雪が降る時期になってきました。10月に定植したニンニクやタマネギの苗は、雪に負けじとすくすく成長しています。今年の秋・冬野菜は露地で白菜やダイコン、ハウスでホウレンソウや小松菜などを栽培しています。今年は全体的に病気などせず順調に成長してくれたと思います。これからも皆さんに安全で美味しい野菜を提供できるように生徒と一緒に栽培していきますので、是非お買い求め下さい。課題研究は、2・3年生とともに春から秋にかけて調査した野菜について、各自パソコンを使ってまとめる作業を行っています。1月末には校内研究発表会があり、冬休みは学校に来る機会が多くなりそうです。入賞を目指して指導していきたいと思っています。



寒さなんて  
へっちゃらさ!

### 草花部門

早いもので今年ももう終わろうとしています。4月よりマリ・ゴールド・サルビア・ペゴニア・カンナ・グロキシニア・シクラメン等の草花の栽培・販売をしてきました。皆様の温かいご支援により、怖い程円滑に進めていくことができたことを感謝申し上げます。

また、新年になりますと新たな草花を皆様にお届けできると思います。ご愛顧のほどよろしくお願ひします。

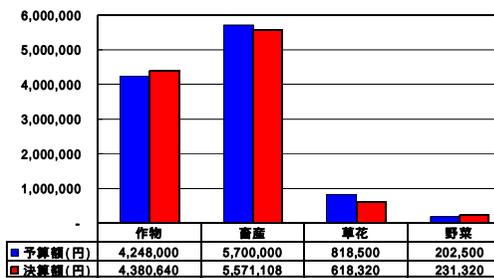
【今後楽しんでいただけそうな草花】

プリムラ“ジュリアン” “ポリアンタ”・サイネリア・ガ・ベラ・ランタンキュラス



### 実習会計

平成21年度 農場会計 中間報告



本年度の農場会計の中間報告をします。(10月末現在) 今年、夏の長雨の影響で各地のそばの収量が激減しましたが、本校は砂地という土壌条件もあり例年並みに収量がありました。

そのため、中間期で作物部門は予算額を上回る収入となりました。また、野菜部門も夏休みに生徒たちが登校・収穫して販売をするなどした結果、予算額を上回りました。

今後、4部門とも収入が見込まれるため、予算額の約1,100万円を上回るのは確実です。

### 農業クラブより

夏休み中に行われた各種大会の報告をします。

7月21~22日に行われた意見研究発表大会には4部門に6名が出場し、1-1の長谷川千宝さんが意見発表で優秀賞に入賞しました。

また、7月23~24日に行われた技術競技大会では農業鑑定競技に4名・情報処理競技には2名出場して、農業鑑定競技では3-1の佐藤涼子さんが優秀賞に入賞しました。なお、佐藤涼子さんは10月に茨城県で行われた全国大会に出場しました。

8月上旬に行われた福島県農業技術検定において、3-1の大月秀樹君、佐藤涼子さんが作物特級位に見事合格しました。なお、大月君は、受検者の中で最高点を取り『教育長賞』という栄えある賞を頂きました。本人の努力が実を結んだ結果となりました。

